

# 令和4年度下半期指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	梅林児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市田端町1番地11		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,993,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:829.92㎡ ◇延床面積:514.44㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、多目的ルーム、事務室		

## ●利用状況

		R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期	R2下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	5,887	5,644	5,763	3,724	4,999
	移動児童館利用者数	656	291	282	58	178
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※14(9)	※11(8)	※7(6)	※2(2)	7
	開館日数(単位:日)	151	155	149	94	150

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①新型コロナウイルス感染症対策マニュアルのに基づき、開館日・開館時間を計画通り実施した。下半期開館日 151日間 ②所長(常勤職員)、常勤職員1人、非常勤職員5人(内休日対応職員として職員2人) 保有資格は、保育士 4人 児童厚生2級指導員資格 3人 ③おたより「メロディ」を毎月発行、乳幼児用と児童用の2種類作成して、近隣小学校や公民館などへ配布、また法人のホームページに掲載、ホームページへは、おたよりの他に毎月の活動や写真・コメントなど掲載。館内にも掲示している。法人和光会グループのフェイスブック、ツイッターへの掲載も随時更新している。 ④ご意見箱を設置し、意見・要望の対応にあたった。また、利用者アンケートを下半期1回実施、利用者の実態を把握し問題の解決に努めた。意見・要望の回答を館内掲示。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。 ②日常清掃を毎日遂行。玩具については貸し出し制を実施、返却ごとに消毒し、次への使用に備えた。消毒しにくいものはオゾン式保管庫を活用した。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、マニュアルを細心の注意を払い遂行した。定時による換気や消毒時間を設けた。感染防止の徹底も継続した。利用時間制限、入館数制限など三密を避ける対策を重視した。遊具の貸し出しの制限、扱いへの理解協力を継続して求めた。 就労促進事業施設清掃班(ワークサポートあすなろ)による清掃も週2回継続して実施した。また契約業者による館内清掃、ワックスかけ、エアコン清掃及び点検も実施した。 ③光熱費高騰もあり職員で意識的に取り組み、節電の意識を持ち、エアコンについては職員による定時点検を実施して室温を適温で使用し、照明の調整も実施した。老朽化していたトイレ電燈をLED機器と交換した。 幼児や児童の工作においては、廃材の利用に取り組み、裏紙の使用を奨励することで省エネルギーと管理費の縮減に努めた。 ④職員による朝夕の施設内・施設外周の見回り点検を実施しチェック表へ記録した。また法人・危機管理室職員が毎日2回館外の巡回を実施のため来館した。玩具については、片づけ時に職員が確認し破損が発見された場合は職員が修理またはおもちゃ病院ぎふに修理を依頼した。

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①点検業務により発見した個所については速やかに職員が修繕実施、また業者へ修繕が必要な場合は見積もりを依頼した。 ②簡易な修繕については、児童館職員で行う。または法人本部に連絡、相談をしつつ修繕依頼している。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③すべてにおいて、マニュアルに沿って実施。 接遇や事故対応等の研修に参加し、職員会等での報告会で伝達講習を行うほか、ヒヤリハット報告書の記入を強化し、周知することで事前の事故・苦情等の防止に努めている。

●利用者評価

利用者アンケートの 実施状況	<p>&lt;保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート&gt; 期間: 令和5年1月17日～2月9日 回答者数: 50人</p> <p>&lt;小・中・高校生用アンケート&gt; 期間: 令和5年1月22日～2月28日 回答者数: 50人(小学: 1年9人、2年13人、3年6人、4年16人、5年4人、6年0人) (中学: 1年0人、2年0人、3年0人)(高校: 1年0人、2年2人、3年0人)</p>
利用者アンケートの 実施結果	<p>&lt;保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート&gt;</p> <p>【校区】 白山(12人)、華陽(10人)、徹明さくら(5人)、厚見(5人)、長森西(4人)、長森南(3人)、加納(2人)、長森東(2人)、その他市内(7人)</p> <p>【年齢】 10代(0%)、20代(8%)、30代(84%)、40代(8%)、50代以上(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(4%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(22%)、週1回(36%)、2週に1回(18%)、月1回(16%)、その他(4%)</p> <p>【来館相手】 子(99%)、孫(0%)、友人(0%)、その他(1%)</p> <p>【子・孫の年齢】 0歳(29%)、1歳(45%)、2歳(16%)、3歳以上(10%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(28%)、自転車(6%)、自家用車(66%)、公共交通機関(0%)、その他(0%)</p> <p>【何で知った】 ホームページ(51%)、広報紙・チラシ(1%)、学校(1%)、保育所・幼稚園(3%)、知人・友人(33%)、ぎふし子育て応援アプリ(1%)、ソーシャルメディア(3%)、その他(7%)</p> <p>【評価】</p> <p>(あいさつ) 満足(94%)、ほぼ満足(6%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(言葉づかい) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用者対応) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用しやすさ) 満足(88%)、ほぼ満足(10%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(整理整頓) 満足(96%)、ほぼ満足(2%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(清潔感) 満足(94%)、ほぼ満足(14%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(換気) 満足(94%)、ほぼ満足(2%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>&lt;小・中・高校生用アンケート&gt;</p> <p>【学校名】 梅林小(46人)、その他市内(4人)</p> <p>【学年】 小学: 1年(18%)、2年(26%)、3年(12%)、4年(32%)、5年(8%)、6年(0%) 中学: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 高校: 1年(0%)、2年(4%)、3年(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(10%)、毎日(0%)、週4・5回(8%)、週2・3回(14%)、週1回(16%)、その他(52%)</p> <p>【来館相手】 ひとり(8%)、友人(76%)、兄弟姉妹(5%)、父母(10%)、祖父母(1%)、親戚(0%)、その他(0%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(45%)、自転車(36%)、自家用車(19%)、バス・電車(0%)、その他(0%)</p> <p>【好きな遊び】 カードゲーム(12%)、ボードゲーム(12%)、卓球(12%)、カラム(10%)、ドッジボール(9%)、けん玉(7%)、その他(38%)</p>

利用者からの  
要望・苦情と  
対処・改善

<保護者>

・いつも優しく声をかけてくださり、楽しい行事も参加させて頂けて、ありがとうございます  
➡皆さんからのお礼やお褒めの言葉に感謝です。嬉しいです。いつでも遊びに来てください。  
・欲を言えば、引っ越してきてもっと早く知りたかったので、ネットとかで、見つけやすいと嬉しいです(^o^)  
➡「自宅近くの遊べる場所」で検索してみてください。児童館のホームページもご覧ください。毎月更新しています。  
・名前に自信のない先生がいて、職員紹介の掲示があってもいいのかな〜と…  
➡自己紹介の掲示板を検討します。ぜひ名前と顔を覚えて頂き、もっと親しくなりたいです。  
・のりもの系の本を追加してもらえると嬉しいです  
➡増やしていきます。他にも本への要望がありましたら声を掛けてください。  
・おもちゃの貸し出し制で消毒されていて安心しています  
➡ご不便おかけし申し訳ございません。ただ、おもちゃの貸し出し制は賛否両論をお聞きしています。コロナ禍の状況に応じた緩和を今後、検討していきます。  
・前回来た時のことも覚えてもらっていたりよく見ていただいてありがたいです  
➡接していく中でお名前を覚えています。親しくして頂けるので職員も嬉しく思っています。  
(クラブへの意見)  
・特に普段の来館ではできないものづくりや体をおもいっきり動かせる遊びができて楽しそうにしています  
➡幼児クラブへの参加をありがとうございます。また楽しかった様子を聞くことができ嬉しく思います。毎回、楽しめるように工夫しています。今後も頑張ります。  
・毎月の申し込みが大変  
・電話予約ができるとうれしい  
➡幼児クラブの申し込みは、ご不便おかけし申し訳ございません。電話が1回線しかありませんので、これまでの状況から申し込み希望者が多く、混雑が予想され、受付が困難です。児童館へ遊びに来るついでに、申し込みをしていただくと良いかと思えます。次期はコロナ禍の感染状況から判断し、定員増の検討をしていきます。幼児クラブの空き状況は電話での問い合わせができます。

<児童>

・サイエンスでやったレインボーソルトまたやりたいです  
⇒わくわくサイエンスでのアンコールをありがとうございます。またたくさんの方が参加できるように計画します。  
・友達と遊べるようにポケモンカードゲームをいれてほしい  
⇒今後、みなさんの意見をもっと聴き、検討していきます。現在置いてあるカードゲームにも挑戦してみてください。  
・もっと長くあそびたい(4)  
・児童館で遊べる時間をもっと延ばしてほしい  
⇒コロナ禍で遊ぶ時間の制限をしていますが、4月からは少しですが延ばします。おうちの方と帰り時間を約束して来てください。  
・お母さんや小さい弟と遊べる場所を作って欲しい  
⇒1階ホールと一緒に遊べるようにしています。利用してください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	S	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み  
に対する評価

○今期の開館日数・・・151日間 利用者数 5,887人  
(令和4年度 年間11,531人 )(令和3年度 年間9,487人)

○今期も新型コロナウイルス感染防止対策を職員で共有徹底の上、運営ができた。  
・新型コロナウイルス拡大防止のために利用者への入館制限等は続けた。マスク着用については自己判断となった3月13日以後の利用者は1割ほどが着用していない。それによるトラブルや苦情は現状ない。手指消毒・検温は抵抗なく実施していただいている。

混む時間を避けたり、イベントのみや幼児クラブだけに参加したりと児童館での過ごし方を工夫されている様子も以前より、変わりなく見られた。イベントは1回の人数制限は行っているが日程選びや時間選びができる選択肢があることの便利さを高評価していただいた。職員たちも柔軟に対応し、モチベーションアップにも繋げていた。その他、利用者アンケートの結果を踏まえ、より一層利用者ニーズに応えられるよう活動準備や館内外の環境の整備・保全などを職員全員で進めた。

・室内環境としては、好評いただいている遊具設定などを継続した。マンネリ化しないように目先を変えた。乳幼児親子・児童・生徒が児童館で居心地よく過ごせるように清潔保持のほか、壁面飾りや遊具の配置、玩具・遊具の修理や新規の購入を定期的に見直すことも行った。

・館外は職員の朝夕の見回り・防犯カメラのチェックと法人和光会の危機管理室職員の巡回が毎日2回実施、利用者の安心安全の運営に努めた。また草取り・植木の剪定・入口花壇の手入れを利用時間外に行った。花壇には秋に児童や幼児とチューリップ球根を植えたり、菜の花の種を蒔いたり春を迎える楽しみとした。3月末に花が咲き、来館して見ていかれる方も多く、喜んでいただけた。また、昨年の夏に花壇で取れたヒマワリとペピーマカス、綿の種を玄関入り口に「ご自由に！」と掲示して置き、来館者や地域の方へ配布した。花が咲いていたことを覚えていただいていたため、「珍しい！」綿の花って初めて見た！」「私でも育てられますか？」の声が聞かれ、配布を喜んでいただけた。植える時期などの説明文も一緒に加えた。

○子育て支援事業  
・幼児クラブの人数制限を8組から12組に増やした。  
活動時間は新型コロナウイルス感染状況が落ち着いてきたことを踏まえ、30分から45分程度に延長した。活動内容が増え満足していただけた。

年齢ごとの幼児クラブだけでなく年齢関係なく参加できるクラブ(名称:びよびよクラブ)を計画し開催した。定員親子8～12組での実施。活動内容は主に体を動かすことを楽しめるようにした。成長とともにできることが増えていくことが保護者にも実感できるようにサーキット遊びとして企画、マット運動や平均台、室内鉄棒、ポールなどを設定し繰り返すことを実施した。

・ハイハイから一人歩きの幼児の発達を皆で見守り励ますことができた。

・0歳児親子の幼児クラブの中で交流会のみの日を設けて、ママ友作りを企画した。

初めての育児のママが多く、交流に慣れていないため、職員がファシリテーターとして入り進め、和やかな会となった。コロナ禍での出産・育児のエピソードや悩みを話せたことで同じように思う方がいることの安堵感や互いに励まされての笑顔が見られたことがよかった。今後も定期的に開催予定。

・乳幼児期の用品リサイクル会の開催を計画したが衣替え前であったため、リサイクル品が思うようには集まらなかった。新年度5月中へ延期とした。短期間の使用である乳児用品の希望に応えられるようにしていく。

・今期はクリスマス会を3年ぶりに実施した。地域の方(華陽小学校PTA会長・梅林地区連合会会長ほか1名)がクリスマスソングの楽器演奏やサンタ役の申し出があり快く迎えた。とても楽しい会となった。また子育て中のママたちに職員と一緒にクリスマス会へのお手伝いを呼び掛けた結果、たくさんの申し出があり、ハンドベル演奏グループが2組結成でき、負担の無い程度(3回)の練習で当日の演奏をして頂き、満足感の声を頂いた。活動を通して交流が深まり、今後も続けたいの声を聞かれ、次回はサークルとして活動予定となった。

苦情や混乱は無かった。保護者にも地域の方が参加していることで見守りがあることを知っていただく機会となった。

○児童の健全育成事業  
・下半期は閉館時間が早まるため、下校後から来館しても短時間の滞在となることから遊びを満足してもらえるように検討して、主にぬり絵やエコ工作など次回の来館時に継続してできる遊びや対戦での簡単なカードゲームやボードゲームなど、いつでもできる遊びの用意や設定をした。加えて、季節感を味わうなどの様々な遊び体験の場作りと学年に関係なく参加しやすいものにしたところ、盛り上がり、児童からの要望があり、児童館利用の継続となるように活動の要望や意見などを聞き取り、職員間で共有してイベントの計画に努めた。

・児童の活動は季節に合わせて『スポーツウィーク』『ハロウィン制作』『クリスマス会』『サーキット』などを取り入れ実施した。

・クリスマス会へ小・中・高校生のボランティアを募集した。ボランティアに参加した児童は3年ぶりの開催が嬉しく、張り切った職員のお手伝いをしてくれた。

・来館カード継続・・・来館の都度にスタンプを押し、10回の来館でのプレゼントを継続中。職員手作りのおもちゃや缶バッジ・キーホルダーなどのささやかなプレゼントではあるが好評である。初めは、プレゼント目的の児童もいたが児童館での遊び、他学校の児童との交流を楽しめるようになり、さらに再来館が増えた。他児童館へも交流の場で話したところ、実施を始めた児童館があるようだ。来館増につながることを願っている。

・今期も密を極力避けるため、ボランティアの活動回数が少なく、小・中・高学生と小さい子たちとの触れ合いタイムができないことが残念だった。来期には異年齢交流の場を長期休みの合わせ計画予定である。子どもボランティアを継続して活動してもらえるように取り組んでいきたいと考えている。

○地域支援活動事業  
・移動児童館は下半期に依頼が14件あり、すべて感染防止対策を実施しながら出向き、遊びの指導ができた。

○民間児童館活動事業  
・上半期の育児相談はコロナ禍での不安に関わるが多かったが、下半期は入園に向けての発達相談が多かった。「周りとの交流が少なく、他の子と比べ、発達が心配である。」「引越越しを控えて園選びが心配。」「1歳半健診でチェックを受けてしまった。」など、子どもの成長や園の情報を知りたい思いに寄り添い、助言した。相談される方はリーダーが多いため、再来館時には職員からお声をかけて様子を聞くようにも努めた。支援の重要性を常に感じ、些細なことでも話すことができるように信頼関係作り職員が意識した気配りに努めた。場合により、専門機関への受診や外出が困難やお子さん連れが不安な方には電話相談等を勧めた。岐阜市より配布の『親と子のハンドブックふりあ』が役に立っている。

○地域との連携  
・近隣小・中学校へは利用している児童・生徒たちの活動の様子をおたより配布時や運営委員会等で伝えて連携をとれる体制を継続している。また、近隣の公民館運営委員会や各種団体長会議へ参加して、地域の方々や情報共有でき、児童館への協力を頂いている。

今期は、ぎふ梅まつりが3年ぶりに再開され、実行委員会からの依頼を受け、移動児童館としてあそび広場を行った。多くの参加を予想して以前より遊びグッズをかなりの量を準備したが好評いただき終了時間直前にやむを得ず終了となった。終了後、児童館への問い合わせもあり、喜んでいただけたことに感謝した。職員も楽しめた時間だった。

○職員員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加  
・法人内研修(リスクマネジメント研修、危機管理対策研修、健康経営推進のための研修、感染研修、等)を実施。  
・外部研修(県児連 館長研修会 中部学院大学短期大学部実習教育研修会)に参加。  
・自主研修(朝日新聞情報より コロナ禍の育児不安について「赤ちゃんさわらないでね!」)に参加。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○利用者アンケートにて、利用者にコロナ感染拡大防止対策の徹底した対応にご理解いただいたことを感謝して消毒時間をHPや掲示により知らせ、玩具や室内の消毒等を継続して行った。職員は法人のリスクマネジメント研修や感染委員会からの伝達等で意識を持ち取り組んだ。</p> <p>○土・日曜日の参加型イベントの実施要望に秋のスポーツウィークやハロウィン仮装・クリスマス会を再開した。コロナ禍で実施できていなかったため、再開は大盛況だった。土・日曜日の父子来館が増えているため、動きのある遊びが喜ばれた。マットや平均台などを組み合わせたサーキット遊びが好評だった。</p> <p>○依然として駐車場スペースを増やしてほしい。位置を分かりやすくしてほしいなど要望が続いている。継続して、公共交通機関、ふれあいバスの利用を促し、駐車場混雑解消に対して理解を求めていくと共に、岐阜市に対しても引き続き、駐車場の確保を求めている。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児クラブの参加組数をコロナウィルス感染症の発生状況のみて増やす予定。</li> <li>・次期は幼児クラブを身体発達によるクラス分けを検討している。ねんねクラブ(～おおよそ8か月くらいまで)、はいはい・よちよちクラブ(おおよそ1歳半まで)、とことこクラブ(～未就学児)のお子さんの動きに合わせたものとしていく。新たに、運動遊びをメインにしたげんきっこクラブを開催予定。</li> <li>・リサイクル会のほかに、いつでも譲り受けたい希望を呼び掛けられるように掲示版を設置していく。</li> </ul> <p>○地域組織活動支援事業</p> <p>地域(公民館・小学校等)で開催される事業へ児童館としてこれまで同様、協力体制を取っていく。移動児童館の依頼があれば、地域の子育て支援の拠点としての活動を行っていく。</p> <p>○児童健全育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で中止していた夏まつりや異年齢交流、乳児、幼児(年長児)と児童のふれあいタイムを再開計画予定。就学前の子供たちと児童が触れ合うことで入学が楽しみになるように「お兄ちゃん お姉ちゃん体験会」となるようにしたい。</li> <li>・児童たちの会話から、カラムやマンカラなど〇〇大会を増やして欲しい、友達と戦いたいとの要望があったので、児童たちのいろいろなことに挑戦したいの思いを受け入れつつ、勝ったら終わりではなく、遊びの継続できるように勝ち数による等級制や月ごとの勝ち数で表彰を行い、達成感を味わえるようにしていきたい。その都度の体験も経験者が遊びのコツを教えていくなど交流を兼ねて行う予定である。</li> </ul> <p>○民間児童館活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で活動を縮小していた小(高学年)、中、高学生のボランティア育成活動を増やしていく。地域の方のボランティア活動も継続して依頼していく。特技や技術を教えていただく講座を設ける予定。現在、5月から開催予定の手芸が得意な方による「ママハンドクラブ」、ミュージックベルで活動されている方の「りんりんクラブ」の参加者を募集中である。</li> </ul>

●所管課の意見

- 法人の研修計画に基づき、様々な分野における研修を実施したり、外部研修にも積極的に参加するなど、職員の資質向上に努めている。
- 地元で開催されるお祭りに遊び支援を行うなど、地元の活動に参加し、地域振興に努めている。
- 地元の方にボランティアで事業に協力してもらうなど、地域と連携して事業を実施している。

●指定管理者評価委員会の意見

管理運営については適正になされている。